

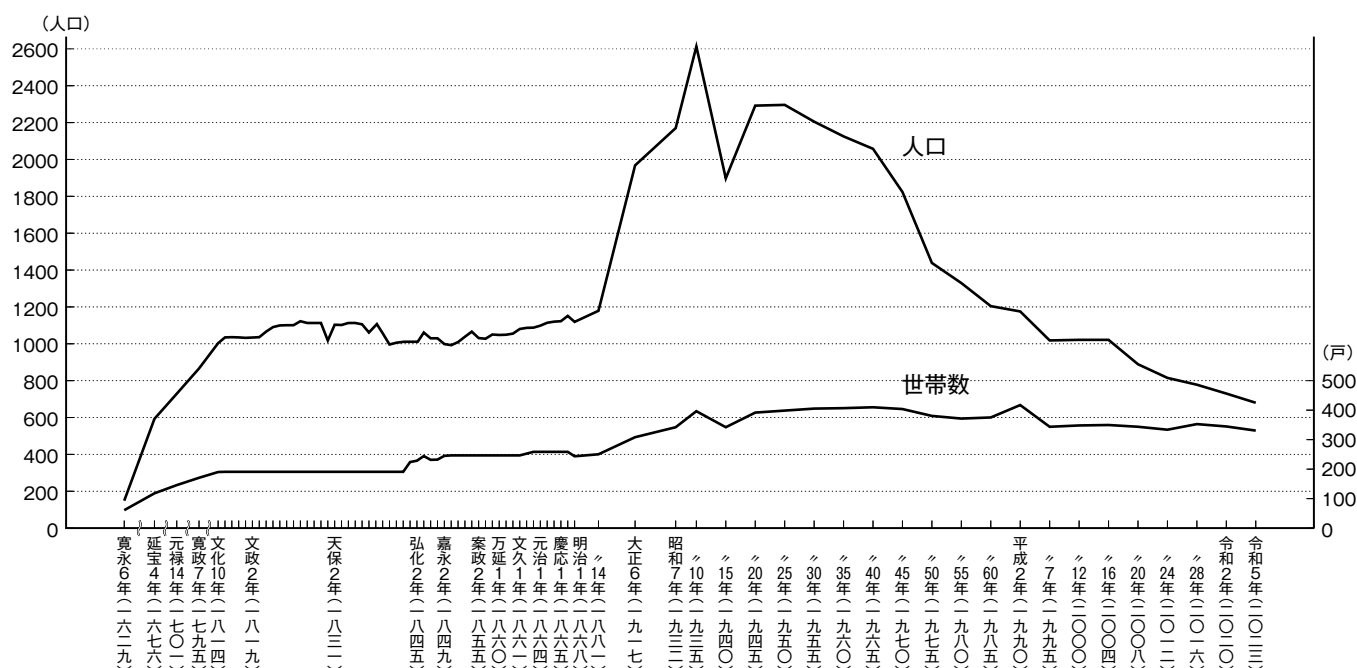
統計資料編

目次

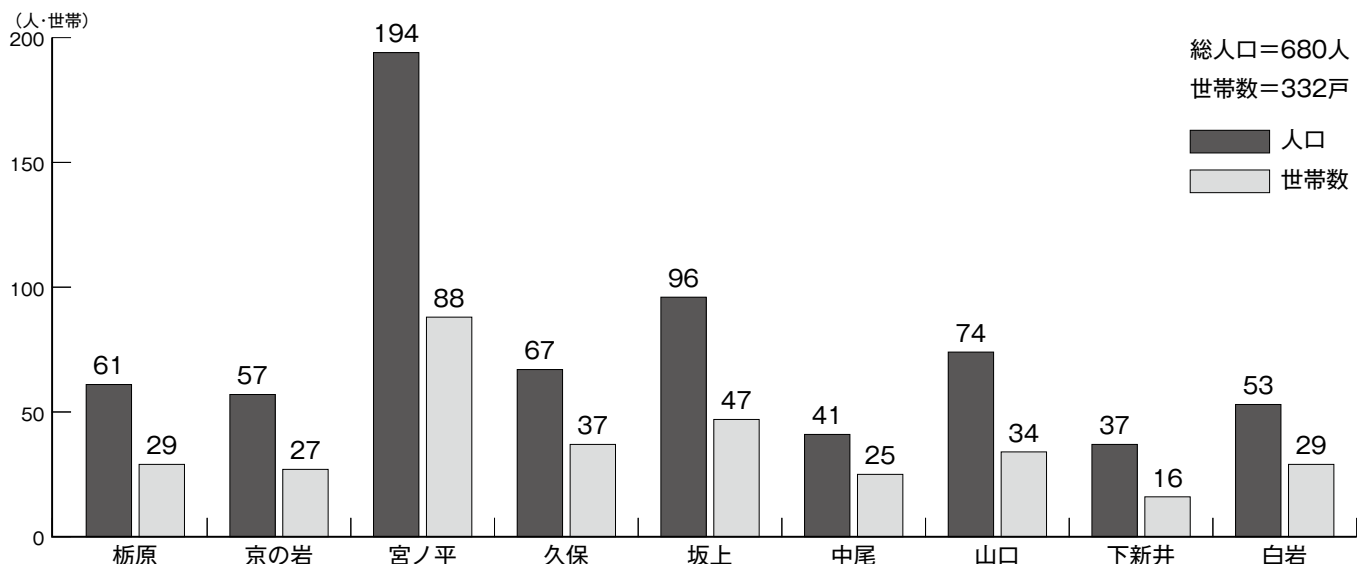
- 人口……………1
- 土地利用……………2
- 産業……………2
- 教育・文化……………3
- 行財政……………4
- 北相木村の歴史年表……………6

人口

◇ 人口・世帯数の推移



◇ 地区別人口 (令和5年1月1日現在)

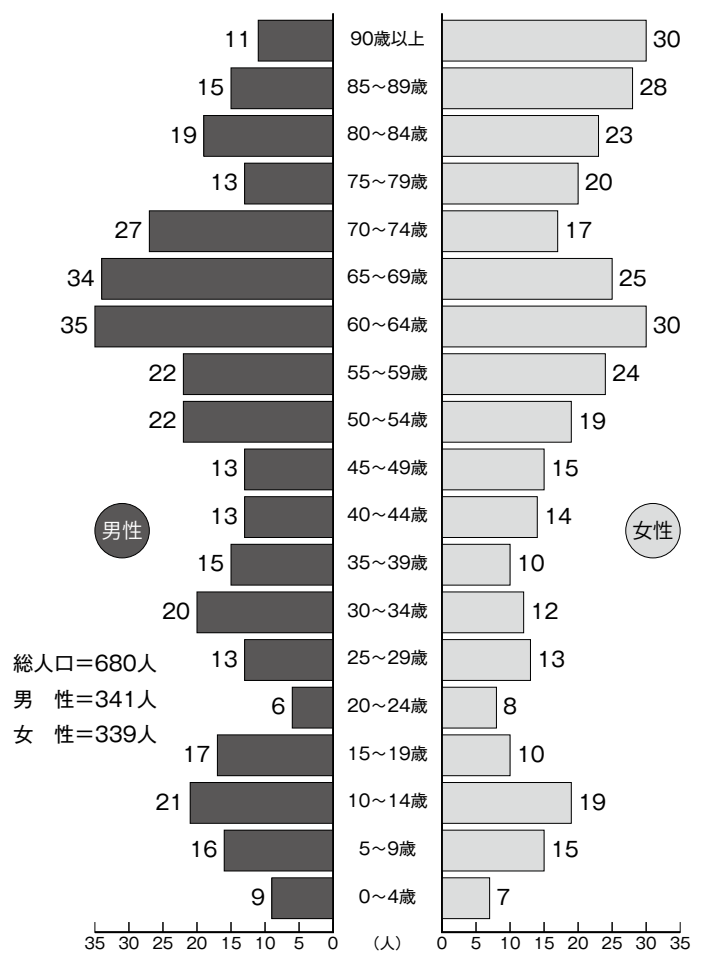


◇ 人口動態 (単位：人)

	自然動態		社会動態	
	出生	死亡	転入	転出
平成20年	4	17	37	31
平成25年	4	12	48	60
平成30年	5	15	65	53
令和3年	3	12	35	60

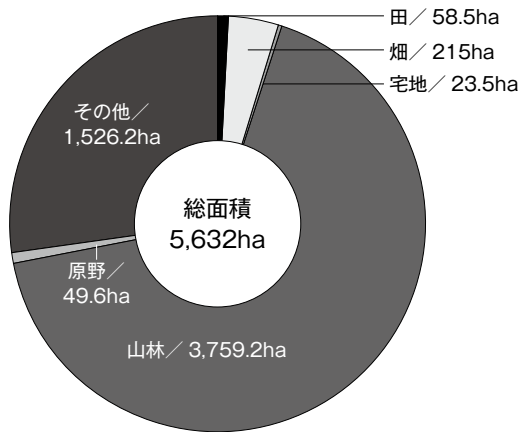
資料：住民記録

◇ 5歳階級別人口 (令和5年1月1日現在)



資料：住民記録

土地利用



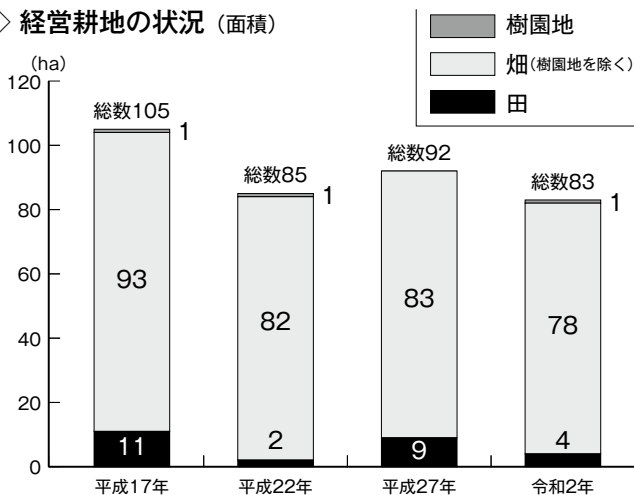
産業

◇ 産業大分類別就業産業者数の推移 (単位：人)

	第一次産業 (小計)		第二次産業 (小計)		第三次産業 (小計)		分類不能	
	農業	林業	製造業	建設業	卸小売業	サービス業		
昭和50年	321	265	240	144	170	53	117	0
平成12年	149	148	157	65	169	40	129	1
平成22年	134	131	99	46	172	40	132	1
令和2年	116	113	74	30	167	27	140	21

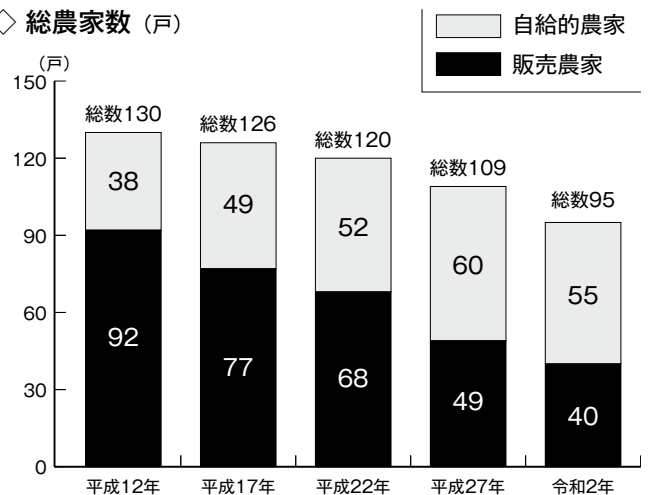
資料：国勢調査

◇ 経営耕地の状況 (面積)



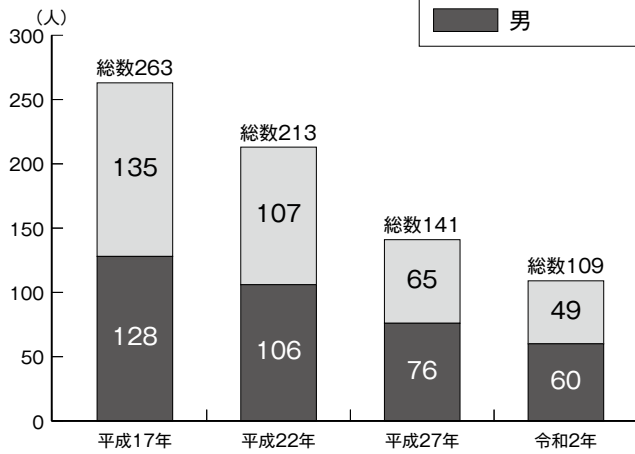
資料：農林業センサス

◇ 総農家数 (戸)



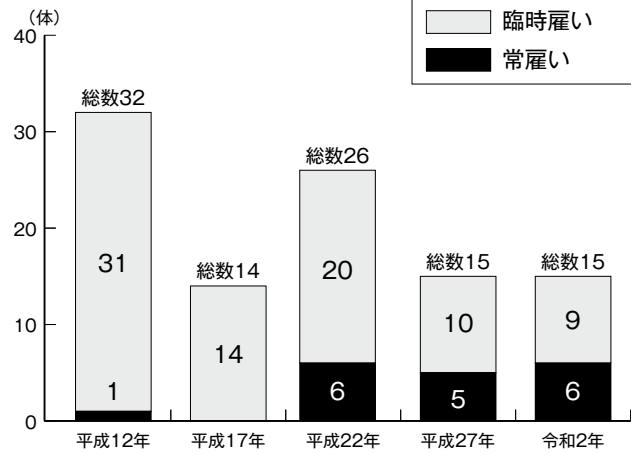
資料：農林業センサス

◇ 農家人口の推移



資料：農林業センサス

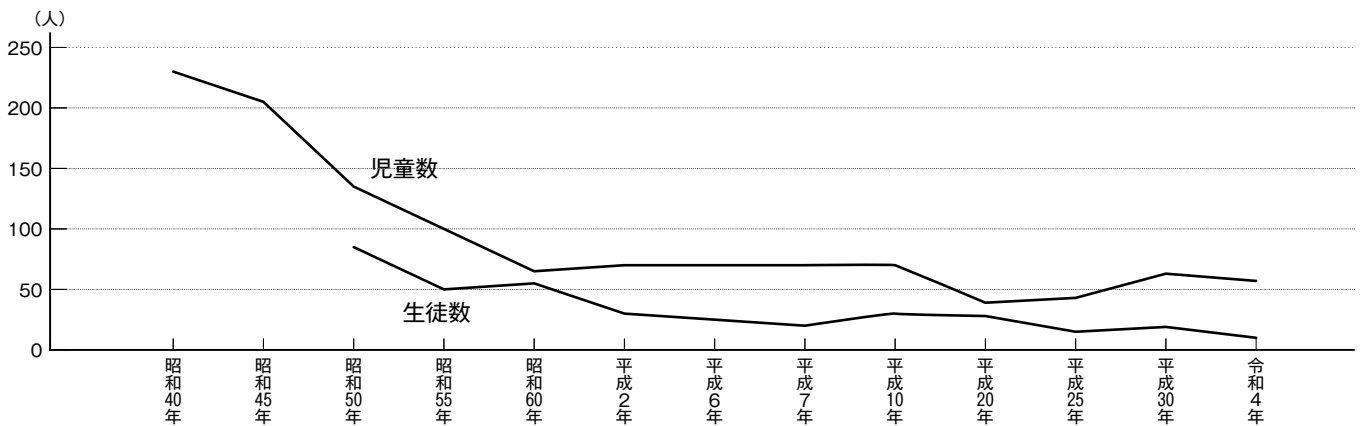
◇ 雇用状況



資料：農林業センサス

教育・文化

◇ 児童・生徒数の推移



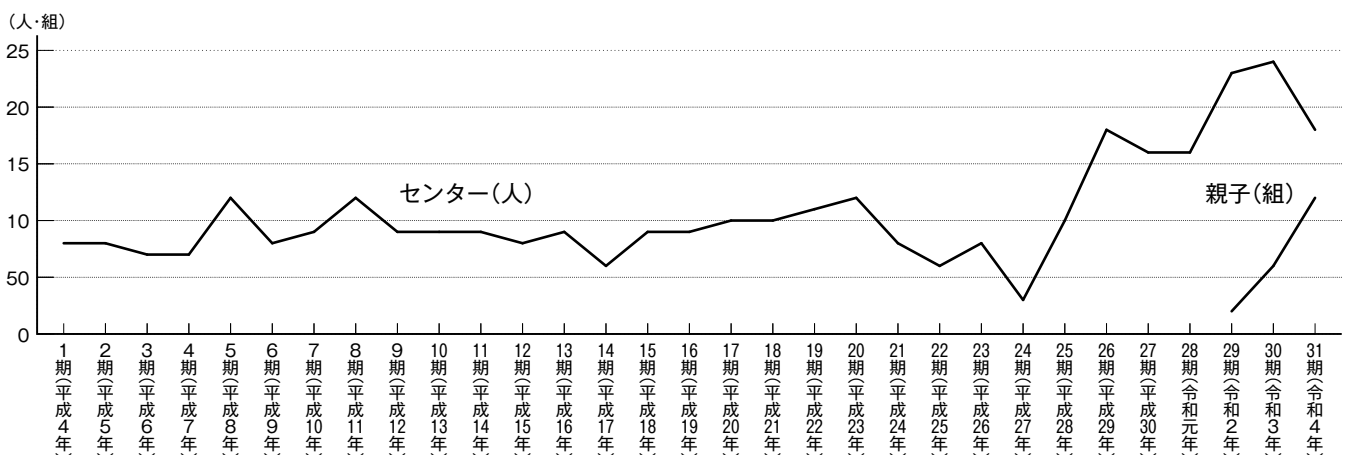
◇ 社会教育関係グループ

スポーツ関係	文化関係
軟式野球クラブ	相扇会
ゲートボール愛好会	氷龍太鼓
マレットゴルフ同好会	子龍太鼓
少年野球	しんか太鼓

◇ 小学校の概要 (令和4年)

児童数 (人)	57 (男28・女29)	
教員数 (人)	16	
施設状況 (㎡)	校地面積	11,367
	建物面積	2,191
	屋内運動場面積	681
	プール敷地面積	1,175

◇ 山村留学の推移



※親子留学制度は令和2年度より開始

◇ 文化財一覧

国指定

名 称	文化財種類	文化財内容	指定年月日	所在地	備 考
栃原岩陰遺跡	天然記念物	史 跡	S62.5.25	栃 原	縄文時代早期の遺跡

県指定

名 称	文化財種類	文化財内容	指定年月日	所在地	備 考
メグスリの木	天然記念物	植 物	S43.5.16	下新井	幹囲2.35m 樹高15m カエデ科

村指定

名 称	文化財種類	文化財内容	指定年月日	所在地	備 考
京窟観音（南向き観音）	有形文化財	寺院建築	S57.7.25	京の岩	経窟山円通閣ともいう 佐久17番札所（厄除観音）
諏訪神社	有形文化財	神社建築	S57.7.25	宮ノ平	永禄11年製作
庚申塔	有形文化財	石造文化財	S58.6.13	栃 原	三猿、高さ152cm
板碑（2面）	有形文化財	石造文化財	S58.6.13	博物館	
明兆の観音大士観瀑之図	有形文化財	絵 画	S63.3.10	大龍寺	室町初期
葛飾北斎武者絵	有形文化財	絵 画	S63.3.10	京の岩観音堂	江 戸
戸田元周の書	有形文化財	書 画	S63.3.10	大龍寺	江 戸
獅子舞（栃原）	民俗文化財	芸 能	S57.7.25	栃 原	
念 佛	民俗文化財	信 仰	S57.7.25	白 岩	
三瀧山（全山）	名 所	名 勝	S57.7.25	下新井	通称三滝（大禪・小禪・浅間） および滝見観音
御座山	名 所	山 岳	S57.7.25	御座山国有林	
箱瀬の滝	名 所	瀑 布	S57.7.25	箱 瀬	
雪瀬の滝	名 所	瀑 布	S57.7.25	雪 瀬	
イチイの木	自然記念物	植 物	H16.5.18	宮ノ平	

行財政

◇ 一般会計決算額の推移（単位：千円）

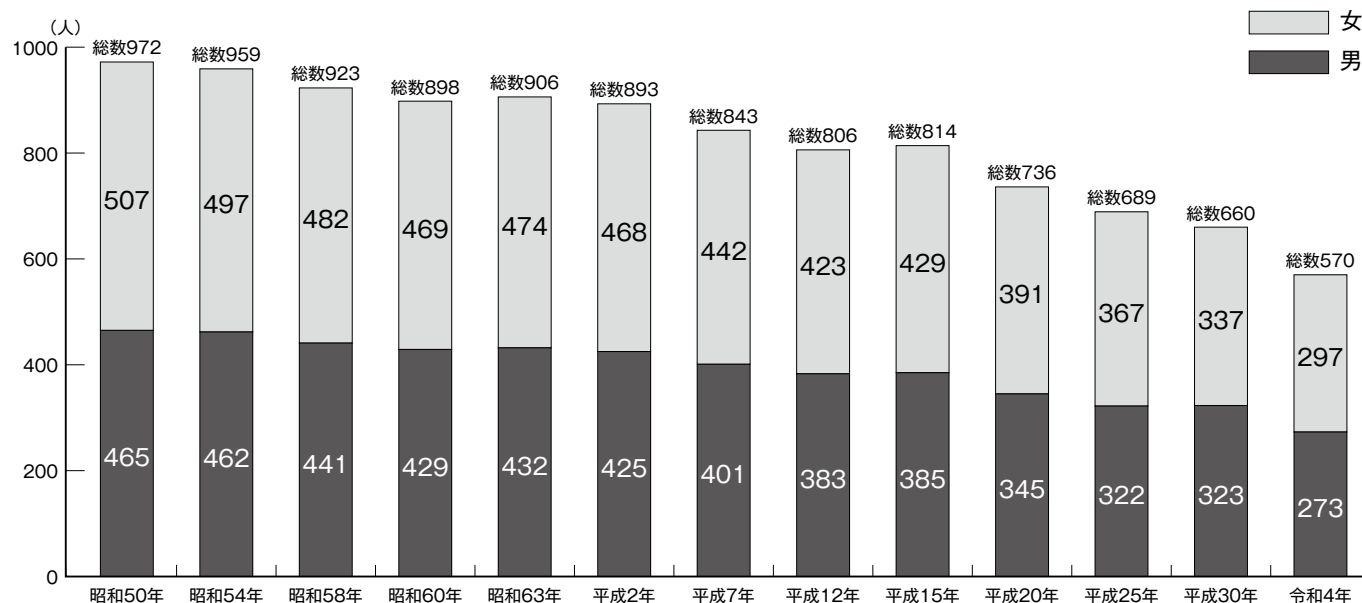
歳 入	平成19年度	平成22年度	平成26年度	令和3年度
村 税	130,068	119,323	108,352	95,271
地方譲与税	46,548	41,935	34,426	41,616
利子割交付金	325	301	133	57
配当割交付金	252	74	383	444
株式等譲渡所得割交付金	144	28	293	474
法人事業税交付金	0	0	0	433
地方消費税交付金	7,301	6,951	7,969	16,808
自動車税取得税交付金	18,567	9,234	3,628	0
環境性能割交付金	0	0	0	2,578
地方特例交付金	500	4,568	92	807
地方交付税	726,949	796,881	761,066	844,923
交通安全対策特別交付金	484	0	0	0
分担金及び負担金	10,462	13,238	24,789	24,457
使用料及び手数料	38,015	33,336	23,738	29,457
国庫支出金	25,570	529,095	46,677	124,648
県支出金	45,096	49,435	67,312	339,568
財産収入	26,908	24,401	27,907	23,847
繰入金	2,255	1,531	79,762	2,962
寄附金	1,000	350	300	1,508
繰越金	31,081	74,879	75,406	253,805
諸収入	13,839	12,614	15,392	25,789
村 債	144,961	126,000	259,700	180,600
合 計	1,270,325	1,844,174	1,537,325	2,010,052

歳出	平成19年度	平成22年度	平成26年度	令和3年度
議会費	23,429	22,890	29,345	26,418
総務費	219,886	338,179	257,651	428,044
民生費	206,156	226,704	253,243	283,676
衛生費	72,980	38,684	38,368	76,197
農林水産業費	56,876	45,653	148,472	73,970
商工費	52,142	30,681	28,819	41,219
土木費	76,958	230,822	287,003	90,112
消防費	12,723	29,019	72,512	73,741
教育費	160,200	569,196	152,170	201,017
公債費	311,189	218,699	156,513	186,593
予備費	20,000	0	0	0
災害復旧費	31,773	0	0	286,742
合計	1,244,312	1,750,527	1,424,096	1,767,729

◇ 特別会計決算額の推移（単位：千円）

		平成19年度	平成22年度	平成26年度	令和3年度
国民健康保険特別会計	歳入	132,000	95,220	84,400	77,366
	歳出	131,538	93,155	84,390	76,538
簡易水道特別会計	歳入	38,910	13,816	12,711	13,448
	歳出	37,871	13,134	11,108	12,073
村営バス特別会計	歳入	25,058	24,459	44,280	38,360
	歳出	24,502	24,177	43,952	38,108
老人保健特別会計	歳入	188,364	0	0	0
	歳出	188,038	0	0	0
後期高齢者医療特別会計	歳入	0	9,279	10,115	10,498
	歳出	0	9,279	10,112	10,497
診療所特別会計	歳入	65,010	59,734	48,152	44,044
	歳出	63,578	56,479	47,125	42,075
介護保険事業特別会計	歳入	97,388	142,035	163,248	172,447
	歳出	87,396	135,460	158,471	137,383
介護保険サービス事業特別会計	歳入	47,769	57,642	61,546	60,160
	歳出	47,665	56,431	60,314	59,435

◇ 有権者数の推移



◇ 歴代村長

	氏名	就任年月	退任年月
初代	山口 城跡	明治22年 5月	明治26年 5月
2	山口 城跡	〃 26年 5月	〃 30年 5月
3	井出幸四郎	〃 30年 5月	〃 34年 5月
4	菊池賢治郎	〃 34年 6月	〃 38年 6月
5	井出花之進	〃 38年 6月	〃 39年 7月
6	井出由五郎	〃 39年 10月	〃 39年 12月
7	井出 代吉	〃 40年 2月	〃 40年 3月
8	井出滝之助	〃 40年 5月	〃 44年 5月
9	井出花之進	〃 44年 6月	大正 4年 6月
10	井出 萬平	大正 4年 6月	〃 8年 6月
11	井出 萬平	〃 8年 6月	〃 12年 6月
12	渡辺 京三	〃 12年 6月	〃 14年 10月
13	井出 寿一	〃 14年 11月	昭和 4年 11月
14	山口叡之祐	昭和 4年 11月	〃 8年 11月
15	井出 正雄	〃 8年 11月	〃 13年 11月
16	菊池 孝	〃 13年 12月	〃 17年 12月
17	井出 正清	〃 17年 12月	〃 21年 12月
18	井出 玄一	〃 22年 1月	〃 22年 4月
19	菊池 巖	〃 22年 4月	〃 22年 11月
20	山口 鉄三	〃 23年 4月	〃 24年 4月

	氏名	就任年月	退任年月
21	井出 仁雄	昭和 24年 5月	昭和 28年 5月
22	井出 仁雄	〃 28年 5月	〃 32年 5月
23	菊池 巖	〃 32年 5月	〃 36年 5月
24	井出 義忠	〃 36年 5月	〃 40年 5月
25	井出 義忠	〃 40年 5月	〃 44年 5月
26	木次 藤吉	〃 44年 5月	〃 48年 5月
27	井出 泰水	〃 48年 5月	〃 52年 5月
28	井出 泰水	〃 52年 5月	〃 56年 5月
29	菊池 政文	〃 56年 5月	〃 60年 5月
30	菊池 政文	〃 60年 5月	平成 元年 5月
31	菊池 政文	平成元年 5月	〃 5年 5月
32	菊池 政文	〃 5年 5月	〃 9年 5月
33	山口 英臣	〃 9年 5月	〃 13年 5月
34	山口 英臣	〃 13年 5月	〃 17年 5月
35	井出 玄明	〃 17年 5月	〃 21年 5月
36	井出 玄明	〃 21年 5月	〃 25年 5月
37	井出 高明	〃 25年 5月	〃 29年 5月
38	井出 高明	〃 29年 5月	令和 3年 5月
39	井出 利秋	令和 3年 5月	

北相木村の歴史年表

時代	年号	西暦	できごと
無土器			1万数千年前川上村や南牧村野辺山に石器だけで土器のつくり方を知らない人たちが住んでいた
縄文	早期		高原のほか岩陰や洞窟を生活の場とし、押型紋をつけた尖底土器などが用いられる
	中期	4000-5000年前	この頃村内各地に住む人あり
弥生	中期	約2000年前	弥生式土器京の岩から出土／千曲川流域の佐久地方においても水稲栽培が行われるようになる 大和朝廷により日本統一
大和	大化1	645	大化改新、初めて年号をつくる
奈良	和銅3	710	都を奈良に移す
平安	延暦13	794	都を京に移す
	仁和4	888	5月8日八ヶ岳くずれ、松原湖や小海湖などができる。また千曲川洪水し災害6群に及ぶ
	延喜5	905	望月の牧の貢馬数を20定とする(従来は30定)
		800年前頃	坂上の西げとに人が住み始めた
鎌倉	建久3	1192	源頼朝が鎌倉で武家政治を始めた
	建武2	1335	建武の新政・本間・海の口・平沢は伴野庄であった。北相木の板碑もこの頃のもの
室町	文安2	1445	阿江木道永が布施の熊野神社を建てる

時代	年号	西暦	できごと
	文安3	1446	大井氏と平賀氏と戦い平賀氏ほろびる
	享徳3	1454	阿江木越後守、明年の諏訪上社五月会の当番を当てられる／この頃阿江木氏長倉に住む
	寛正3	1462	阿江木常栄、諏訪上社明年花会の当番を当てられる
	寛正6	1465	阿江木越後入道上京、このときすでに大井氏の部下
	文明8	1476	阿江木光康、諏訪上社来年の五月会の当番を当てられる
	文明11	1479	8月24日伴野氏と大井氏戦い、大井氏方の阿江木入道討死をする
	文明14	1482	阿江木光康、諏訪上社来年の五月会の当番を当てられる
	文明18	1486	阿江木遠経、諏訪上社来年の五月会の頭役を当てられる
	延徳2	1490	この頃阿江木氏長倉より相木に移る
	文亀3	1503	阿江木常喜、南相木村の諏訪神社と新海神社に鯛口を寄進する
	大永4	1524	南相木村新海三社明神の社殿の建替ができる
	天文9	1540	武田信玄、佐久郡に攻め入り三六城をおとす／阿江木氏、武田氏の臣となる
	天文17	1548	依田能登守、田口城に入る
	天文18	1549	阿江木玄悦の手紙あり

時代	年号	西暦	できごと
	天文19	1550	南相木村の常源寺建立、徳忠開基となる
	弘治3	1557	12月依田長繁、湯原大明神に鯛口を寄進する
	永禄2	1559	阿江木常喜、南相木村の常源寺と諏訪・新海神社に土地を寄進する
	永禄3	1560	武田信玄、信濃奥郡を攻めるため松原神社に戦勝祈願
	永禄4	1561	阿江木常喜、川中島の戦いに出陣する
	永禄8	1565	武田信玄、阿江木・望月等を倉賀野城大熊伊賀守の応援にいかせる
	永禄9	1566	北阿江木村、佐久郡11の村とともに諏訪上社の一の鳥居建立を命ぜられる
	永禄11	1568	4月依田長繁、北相木村の諏訪・浅野神社を建てる
	永禄13	1570	北相木村に定勝寺という寺
安土	天正4	1576	依田美濃守、田口新海神社の造栄を報告する
桃山	天正5	1577	北相木村等佐久郡の11郷諏訪上社一の鳥居建立を命ぜられる
	天正6	1578	一の鳥居建立のため南北相木村より2貫400文を出す／この年凶作
	天正9	1581	3月相木信房、高天神城にて戦死

時代	年号	西暦	できごと
	天正10	1582	11月依田能登入道常林、田口城から群馬県に逃げ高野山に手紙を出す。この年の末に相木城の戦いがあり、相木氏敗れて常喜逃がれる／相木は依田信蕃の領地となる／この頃北相木村120貫文／この頃大禅僧都三滝山を開く
	天正11	1583	2月の相木常喜の手紙高野山にあり／2月12日徳川家康、相木城の兵力をへらさせる
	天正18	1590	3月依田能登守と伴野貞長は北相木村白岩に兵を挙げ、小諸の松平氏と戦ったが、敗れて伴野貞長は戦死／8月佐久郡は仙石氏の領地となる
	文禄4	1595	北相木村永120貫文
江戸	慶長8	1603	徳川家康江戸幕府を開く
	慶長10	1605	10月仙石氏佐久甲州街道を普請／阿江木も人足を出す
	慶長17	1612	仙石秀久、北相木村の鷹見人8人に扶持を支給する
	元和3	1617	この頃の村高210石、この頃大龍寺できる(元和元年か)
	元和8	1622	9月佐久郡は徳川忠長領となる／この頃の村高210石6斗
	元和9	1623	岩波道能寺、相木村の折右衛門等に香坂村宮平の地を開かせる
	寛永1	1624	佐久郡松平憲良の領地となる
	寛永6	1629	検地あり、高村238石4斗3升2合、戸数30戸、田なく畑34町程。この年凶作。戸田茂睡生まれる
	寛永10	1633	この年号の真言伝授状と除罰印信状あり
	寛永13	1636	村高258石7斗4合、畑屋敷34町歩余
	慶安3	1650	相木小右衛門、御影新田開墾
	寛文3	1663	この年川又の庚申塔建てるこの頃戸田元周生まれる
	寛文11	1671	相木氏内藤氏につかえる
	延宝4	1676	戸数122戸、村高476石6斗余田2町6反できる
	延宝8	1680	凶作
	元禄14	1701	142戸、710人
	宝永3	1706	戸田茂睡死す78歳／善光寺本堂建立のため相木の木を伐りだす
	宝永4	1707	善光寺本堂完成
	元文2	1737	戸田元周死亡
	寛保2	1742	7月大洪水、水害あり
	天明3	1783	7月浅間山大爆発、凶作
	寛政7	1795	人口876人
	文化10	1813	187戸
	弘化3	1846	田村太心、三滝山再建
	嘉永5	1852	木次周蔵等木次原の開墾を願い出る

時代	年号	西暦	できごと
	安政2	1855	244戸、1027人
	安政3	1856	木次原の開墾許可おける
	安政6	1859	木次原の開拓ほぼ完成(1町4反余)、洪水あり
	慶応3	1867	村高207石4斗／王政復古／この頃より養蚕始まる
	明治元	1868	明治維新／伊那県管轄となる／田野口番が岡岡藩と改称する
近代	明治2	1869	たたみが初めて使われる
	明治3	1870	中野県管轄となる。4年長野県となる
	明治5	1872	学制発布／242戸、1142人
	明治6	1873	啓文学校でき、大龍寺を使用／本村・中村・宿戸・親沢・笠原・一ノ沢・土村が合併して小海村となる
	明治12	1879	学校の児童数104人
	明治16	1883	御座学校となる
	明治17	1884	秩父事件起き、北相木自由党の菊池貫平・井出為吉らが参加／敗走した秩父困民軍は大日向より佐久へ侵入したが、東馬流で高崎鎮台平等により鎮圧される
	明治18	1885	小海・南相木と合併、戸長役場を小海の本村に置く
	明治21	1888	信越線、直江津-軽井沢間の運転開始
	明治22	1889	町村制が施行され北佐久2町26村・南佐久23村となり、戸長を町村長、戸長役場を町村役場と改称する／この頃白岩分校できる
	明治26	1893	碓氷峠のアプト式軌道が完成し、信越線が全通
	明治32	1899	農協の前身の信用組合できる
	明治34	1901	三、四区青年夜学会できる
	明治38	1905	佐久に自動車が行くようになる
	明治40	1907	小学校が6年制となる
	明治42	1909	村にへい合青年会が生まれる／18年頃自転車が入る
	明治43	1910	北相木農工補習学校できる／婦人会つくられる
	大正元	1912	小学校の本校を新築する
	大正6	1917	学校の就学率100%となる／白岩分校現在地に移転
	大正8	1919	この頃婦人会ができる。佐久鉄道開通、羽黒下-小海
	大正9	1920	北相木尋常高等小学校となる(7学級)／9月関東大震災、薊ヶ丘大暴落。第1回国勢調査が行われる(10月1日・北佐久の人口8万9978人・南佐久7万133人)
	大正12	1923	川又から山口まで点灯
	大正14	1925	小学校現在地に校舎新築

時代	年号	西暦	できごと
	大正15	1926	青年訓練所できる。補習学校始業式／尋常高等小学校増築／消防組できる
	昭和5	1930	空前の不況で小学校の修学旅行中止、遠足をする
	昭和8	1933	郵便取扱所できる(14年郵便局となる)
	昭和10	1935	青年学校併設、農工補習学校廃止
	昭和12	1937	川又から山口までの道路を改修して県道となる(15年完成)／トラックが入る
	昭和14	1939	学校電話開通／学校に礼法室を増築／東校庭を拡張／消防が警防団となる
	昭和15	1940	満州千曲郷入植
	昭和16	1941	国民学校となる／太平洋戦争始まる
	昭和17	1942	千曲郷入植完了
	昭和18	1943	森林組合創立
	昭和20	1945	終戦(8月15日)
	昭和22	1947	終戦後北相木小学校となり新制中学校発足／白岩三寸木まで点灯／北相木婦人会、消防団、農協発足／食糧、衣料不足／大日向開拓団引上げ、借宿地籍国有林に入植(4月、65戸)／天皇陛下県内巡幸、大日向開拓地もご視察になる(10月)
	昭和23	1948	国民健康保険公営化
	昭和24	1949	井出仁雄氏村長に当選／北相木公民館発足／シャブ勸告により町村合併問題がおこる
	昭和26	1951	村議選(無投票)／村章の決定
現代	昭和27	1952	村教育委員会発足／信越放送(SBC)がラジオ放送開始(3月)
	昭和28	1953	坂上水道工事／冷害で米の凶作／井出仁雄氏村長に2選／町村合併促進法が公布
	昭和29	1954	小・中学校で完全給食実施
	昭和30	1955	小学校体育館落成
	昭和31	1956	診療所建築
	昭和32	1957	菊池巖氏村長に当選
	昭和33	1958	栃原分校改築／台風21・22号で村内各地で災害続出／NHK全国唱歌コンクール県大会で小学校が準優勝
	昭和34	1959	水道工事完成／母子健康センター建設／奥地山村振興地区に指定(振興5か年計画実現に着手)／村内米作グループ(5名)農林大臣賞受賞／国民年金制度スタート／上の段橋完成／台風7号により7戸半壊他被害多数／環境衛生組合連合会結成／高砂クラブ(老人会)結成
	昭和35	1960	母子健康センター完成／村内電話設置数36戸になる
	昭和36	1961	井出義忠氏村長に当選

時代	年号	西暦	できごと
現代	昭和37	1962	保育所完成
	昭和38	1963	北相木中学校改築／社会福祉協議会結成
	昭和39	1964	第1回慰霊祭実施／耳下腺炎大流行／水稲・園芸作物空前の大豊作／南相木－川上間の林道立原線開通
	昭和40	1965	井出義忠氏村長に2選
	昭和41	1966	栃原洞六8000～9000年前の骨出土「北相木原人」の発見／雪瀬橋完成 南相木の立岩ダム完成
	昭和43	1968	診療所完成／「めぐすりの木」県天然記念物に指定／佐久総合病院が全面完成
	昭和44	1969	武道峠に自動車道できる／木次藤吉氏村長に当選
	昭和46	1971	加和志湖できる／林道武道峠開通／白岩分校閉校
	昭和47	1972	加和志砂防ダム（加和志湖）完成／連合赤軍あさま山荘事件が起きる
	昭和48	1973	井出泰水氏村長に当選
	昭和49	1974	「あゝ開拓千曲郷の断末」出版される／屋内有線放送完成／加和志地区農地造成（パイロット）事業完成／有線放送設備完成
	昭和50	1975	公民館・役場・農協新築／第1回文化展開催される／小学校創立100周年記念、校歌制定／井出孫六氏（白田町出身）が第72回直木賞を受ける
	昭和51	1976	牛落地区農地造成着工／第1回氷上運動会開催
	昭和52	1977	北相木村誌出版／栃原公民館完成／井出泰水氏村長に2選／北相木局電話自動化／木次原山村研修センター完成／第1回明治青年大学開講
	昭和53	1978	小学校にアスレチック施設完成／久保・中尾公民館完成／藤沢市に村民の海の家「千曲川荘」完成／加和志地区で郡植樹祭開催／久保に予冷庫付野菜集荷場完成／第33回国民体育大会（やまびこ国体）
	昭和54	1979	箱瀬橋完成／京ノ岩公民館完成／昭和53年度をもって北相木中学校閉校
昭和55	1980	小学校新校舎完成／下新井公民館完成／第1回三滝山氷まつり開催	
昭和56	1980	栗尾小池線開通／長期振興計画を策定（～64年）／菊池政文氏村長に当選／3町村合同誘致の「千曲電子」完成	

時代	年号	西暦	できごと
現代	昭和57	1982	老人福祉センター「にしまる荘」オープン／村道武道線県道認定／台風10・17号で総額14億円の被害
	昭和58	1983	三滝山歩道改良完成／民間路線バス廃止に伴い村営バスの運行開始／宮ノ平公民館完成／第1回「にしまる荘まつり」開催
	昭和59	1984	村民運動広場建設着工／秩父事件100周年記念碑建立／堆肥センター完成
	昭和60	1985	菊池政文氏村長に2選／木次原生活環境保全林整備事業着手／日航ジャンボ機上野村へ墜落
	昭和61	1986	村民運動広場完成／新診療所完成／緑の少年団結成／青年団4年連続全国大会出場（文化祭）
	昭和62	1987	活性化センター（山留）完成／長期山村留学受入開始／栃原岩陰遺跡国の記念物史跡指定／CI計画着手（村名ロゴタイプ決定）／村観光協会設立
	昭和63	1988	保育所新園舎完成／歩け歩け大会富士登山／特別村民制度発足
	平成元	1989	合併浄化槽設置事業着手／菊池政文氏村長に3選／県道上観地区開通／村制施行100周年記念
	平成2	1990	多目的集会施設完成（しゃくなげホールほか）／第1回村長杯ゲートボール大会（屋内ゲートボール場オープン）
	平成3	1991	長者の森・屋外ステージ「やまびこ」完成／久保公民館完成／県道改良進む（上ノ段橋開通）
	平成4	1992	CATV放送開始／考古博物館開館
	平成5	1993	菊池政文氏村長に4選／ロッジ「長者の森」完成／老人福祉複合センター「みどり」完成
	平成6	1994	小学校特別教室棟改築／94長者の森フェスティバル賑わう（北島三郎コンサート）／サングリーン広場に照明施設完成
	平成7	1995	村民交流スポーツセンター「グリーンドーム」完成／組合立小海中学校新校舎完成
	平成8	1996	小学校屋根付きプール完成／小学校開校120周年記念／山村留学10周年記念
	平成9	1997	山口英臣氏村長に当選／大ひれ橋開通
平成10	1998	中国三自治体と友好交流覚書交換／大鱧トンネル貫通／長野オリンピック・パラリンピック開催	

時代	年号	西暦	できごと
現代	平成11	1999	にしまる荘に「トゴール温泉」が完成
	平成12	2000	北相木村針灸施術所がにしまる荘に開所
	平成13	2001	九州開拓50周年／山口英臣氏村長に再選
	平成14	2002	Uターン事業の推進に伴い、長野県下で最高の人口増加率を記録
	平成15	2003	村内光ファイバー化／CATVインターネット開始
	平成16	2004	デジタル防災行政無線完成
	平成17	2005	井出玄明氏村長当選
	平成18	2006	白岩バイパス開通／宮ノ平公民館完成／山村留学事業20周年
	平成19	2007	長野大学大野専門セミナー開講、「限界集落」の実態を探る
	平成20	2008	坂上公民館完成／原油価格高騰
	平成21	2009	井出玄明氏村長再選／遊休農地活用ひまわりの試験栽培
	平成22	2010	支援ハウス完成
	平成23	2011	下新井地区村営住宅完成／安心安全カメラ設置
	平成24	2012	にしまる集合住宅完成
	平成25	2013	井出高明氏村長当選
	平成26	2014	交通死亡事故ゼロ7000日達成／宮ノ平・下新井地区へ防災倉庫設置／京の岩村営集合住宅
平成28	2016	山村留学30周年／山口集合住宅（親子山留）	
平成29	2017	井出高明氏村長再選／坂上集合住宅完成	
平成30	2018	中電と「災害時における相互協力に関する協定書」調印	
令和元	2019	台風19号災害豪雨災害／新型コロナウイルス感染症12月初旬中国武漢市で流行	
令和2	2020	1989年～2019年タイムカプセル掘りだし／白岩地区防災倉庫	
令和3	2021	井出利秋氏村長当選／交通死亡事故ゼロ2000日達成	
令和4	2022	3年ぶりの100kmマラソン	
令和5	2023	村議会初女性議員当選	

北相木村村勢要覧 2023 統計資料編

発行／2023年 長野県北相木村
長野県南佐久郡北相木村2744